加藤和先輩 夢のロンドン五輪へ!

競泳女子200m個人メドレー

桜の聖母学院新聞

発行所
福島市野田町七丁目11番1号
桜の聖母学院高校新聞部

校歌

美しさかがなびや
山歌はめぐりて高きその姿
黄金なすそのやすらいに
汝をば育み
黄金なすそのやすらいに
みそらははほえむ

紙面紹介

1面・オリンピック選手誕生!
・インターハイ&総文祭出場
・新規開店お弁当屋さん
2面・シリーズ大学見学記「自治医大&宇都宮大」
・9月8・9日に桜華祭開催

福島県初の競泳五輪代表

たとえやりたくても滅多にできるものではない、オリンピック出場選手の壮行会という大イベントが、本校の歴史上初めて5月1日に開催されました。7月27日よりイギリス・ロンドンで始まる、第30回夏季オリンピックの競泳競技に出場する、本校の4年前の卒業生・加藤和（いずみ）選手は、その前1か月前の4月5日の日本選手権兼オリンピック派遣選考会で、女子200m個人メドレーで派遣標準記録を突破してもうこの時期にしか福島に帰省できないため、オリンピックの約3か月前の壮行会となりました。

新聞部では壮行会に和先輩が母校を訪れた機会に、インタビューを行いました。これを読んだ皆さんが、それぞれの置かれた立場で和先輩に倣って目標に向かって努力し、夢を実現するための一助になれば幸いです。

（清水川ひより・滝沢佳純・和田ひかる）

桜の聖母で8年過ごした福島時代

和先輩は9月30日、3月24日、福島市原町に生まれ。6歳の時、3つ年上のお兄さんの影響でスイミングクールに通い始めた。庭坂小学校5年生で、競技コースでの練習を開始。そして2002（平成14）年4月、桜の聖母学院に入学以来、中高の6年間を野田町キャンパスで、桜の聖母生と高校1年生で競泳少年団を桜の聖母学院の生徒として過ごした。

中学3年生の8月、横浜で開催された全国中学大会の200m個人メドレーで優勝、一躍全国に知られる存在となった。

桜の聖母学院高校に進学した2005（平成17）年、初出場のインターハイでは出場できなかった。

そのための年のインターハイ&総文祭に向けて、高校2年生となった2006（平成18）年4月の全日本選手権で大学生や社会人を抑えて200m個人メドレーで2位の成績が評価され、夏のカナダでのパンパシフィック水泳選手権の日本代表に最年少で選ばれ、初の全日本メンバーとなった。

高校3年のインターハイ佐賀大会では、もはやライバルなしの状態で、200m個人メドレーで2位の成績を収めた。

高校卒業後は、競泳界の名門・山梨学院大学に編入し、初めて本格的に競泳選手としての全日本級の選手生活を送ることとなった。

しかし和先輩は、競技を続けロンドンを目指す道を選んだ。2010（平成22）年春に桜の聖母学院を卒業した和先輩は、競泳界の名門・山梨学院大学に編入し、初めて本格的に競泳選手としての全日本級の選手生活を送ることとなった。

山梨学院大に編入、さらに飛躍

しかし和先輩は、競技を続けロンドンを目指す道を選んだ。2010（平成22）年春に桜の聖母学院を卒業した和先輩は、競泳界の名門・山梨学院大学に編入し、初めて本格的に競泳選手としての全日本級の選手生活を送ることとなった。また、全国中学大会200m個人メドレーで久々の優勝を果たし、オリンピックに向けて弾みをつけた。

そして迎えた今年4月の全日本選手権兼ロンドンオリンピック選考会では、かつて出場した200m個人メドレーで2位に入ったものの、惜しくも3位に終わった。

しかし、今年1月の日本選手権で、200m個人メドレーで2位、同400mでは4位となったが、9月の4月に仙台・辰巳水泳場で行われた、北京オリンピック選考会を兼ねた全日本選手権で、桜の聖母関係者のみならず福島じゅうの注目を集めた出場した。

競泳のオリンピック代表になるには、この選考会で6位以内に入りかつ派遣標準記録を突破しなければならない。だが和選手は、お互いに切磋琢磨しながら練習を積んできた山梨学院大学の仲間たちの応援を受けて、200mと400mの個人メドレーで見事に派遣標準記録を突破し、200mでは2位、400mでは3位で、見事ロンドンオリンピック代表の座を勝ち取った。

和先輩との一問一答!

Q：オリンピック出場、おめでとうございます。今の心境はいかがですか。

A：小さい頃から祖父に言われてきた、「人事を尽くして天命を待つ」という言葉を、自分でやれるだけの努力をやって、あとはもう天に、この4年で言うならば神様にお任せするしかないと、今回はその心持ちになれたと思います。

Q：オリンピックはつ頃から意識したのですか？

A：4年前の北京の選考会の時には、出場を目指すというよりは行けるかどうか不安の中で戦いましたが、でもだけなったことで、ロンドンには行くぞ！という思いが強くなり、はっきりした目標となりました。

Q：ロンドンオリンピックでの目標は？

A：決勝に残ることです。まだ決勝出場ラインには達していないので、これから調子を上げていきたいと思います。実はロンドンに行くのは初めてなので、楽しみです。ただ競泳ルールは何ですか？

A：宮城・岩手の生産者の心をこめて育てたブランド鶏「みちのく清流若鶏」を使用しています。国産の食材のみを使用していきたいと思っています。

Q：苦手なスポーツは？

A：球技一般が苦手です。実はトップスイマーの中にも、水泳以外のスポーツはできないという人も結構多いです。

Q：最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

A：今しかできないことを全力で取り組み、周りの友達を大切に過ごしてください。

Q：新聞服の印象は？

A：かわいい。一度着てみたかったです。

Q：いつお店を出されたのですか？

A：今年の2月上旬です。

Q：メニューの種類は？

A：味付けの異なる唐揚げ5種類の他に、お弁当丼ものが21種類の、計26種類です。

Q：人気メニューは？

A：当店自慢の名物唐揚げです。中でも和風醤油味が人気です。

Q：おすすめメニューは？

A：オリジナルソースを使ったソースカツ丼（300円）です。値段も手頃だと思います。

Q：お店の特色や「売り」は？

A：登場しました！学校でのお弁当屋さんは、1月に行われた「文化祭」の模擬店で、唐揚げを販売したのが始まりです。その時の評判がとても良かったので、今回の開店に至りました。

Q：桜の聖母の生徒にひとこと御願いします。

A：皆さんがお店の前を通るたびに、笑顔であいさつしてくれるのがとても嬉しいです。

Q：お店の特色や「売り」は？

A：宮城・岩手の生産者の心をこめて育てたブランド鶏「みちのく清流若鶏」を使用しています。国産の食材のみを使用していきたいと思っています。

Q：苦手なスポーツは？

A：球技一般が苦手です。実はトップスイマーの中にも、水泳以外のスポーツはできないという人も結構多いです。

Q：最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

A：今しかできないことを全力で取り組み、周りの友達を大切に過ごしてください。

Q：新聞服の印象は？

A：かわいい。一度着てみたかったです。

Q：いつお店を出されたのですか？

A：今年の2月上旬です。

Q：メニューの種類は？

A：味付けの異なる唐揚げ5種類の他に、お弁当丼ものが21種類の、計26種類です。

Q：人気メニューは？

A：当店自慢の名物唐揚げです。中でも和風醤油味が人気です。

Q：おすすめメニューは？

A：オリジナルソースを使ったソースカツ丼（300円）です。値段も手頃だと思います。

Q：お店の特色や「売り」は？

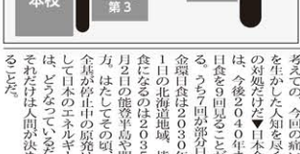
A：登場しました！学校でのお弁当屋さんは、1月に行われた「文化祭」の模擬店で、唐揚げを販売したのが始まりです。その時の評判がとても良かったので、今回の開店に至りました。

Q：桜の聖母の生徒にひとこと御願いします。

A：皆さんがお店の前を通るたびに、笑顔であいさつしてくれるのがとても嬉しいです。

本校の目の前にオープンしたお弁当屋さんと、お店の方々。

ソースカツ丼 300 円。大盛りは 50 円増し。



卓球部 7年続 7連全国へ!!

本校女子に続き男子も、6月1～3日に福島アリーナにて行われた第68回福島県高等学校体育大会において、学校対抗の団体戦で県大会7連続を達成、個人での出場も含めれば7年連続インターハイ大会出場が決まった。

競技初日の団体戦では、圧倒的な強さで勝ち上がったものの、決勝の福島高専戦ではダブルスの逆転勝利で辛くも勝ち上がった。

入れ替えて臨んだ遠藤・熊谷組が、前日とは別人のような強さで、昨年に続き連覇を達成、2位の原沙也可さん（2年・本宮第一中出身）、新開円香さん（2年・郡山東中出身）のペアと共に、東北大会への出場権を獲得。

2日目のダブルスでは、前日の思わぬ敗戦で気合を入れ直して臨んだ遠藤・熊谷組が、前日とは別人のような強さで、昨年に続き連覇を達成、2位の原沙也可さん（2年・本宮第一中出身）、新開円香さん（2年・郡山東中出身）のペアと共に、東北大会への出場権を獲得。

最終日のシングルスでは、1～3位に校選手が、まとベスト8中の5名を本校勢が占めた。優勝の熊谷は県大会では初めてのシングルス優勝で、団体・ダブルスと合わせ三冠に。2位は遠藤さん、3位は原さんで、東北大会・全国大会への出場権を獲得。さらに、あと一歩及ばず全国大会出場切符は、ベスト8の残る4人の選手での決定戦の末に出した渉外部上位の3名が獲得、1年生ながら滑川さんが入り、さらに今回初のエントリー入りしベスト16に入った岩本桐子さん（2年・多功第三中出身）も、東北大会への出場を決めた。

東北大会は、この新聞が発行される前の6月22日～24日に山形県天童市にて開催。強豪青森山田との対決が待っている。さらに全国大会は、今年は長野県長野市のホワイトリングを会場に、ロンドンオリンピックの開催期間まったただ中の7月31日～8月5日に行われる。異なる競技ではあっても、オリンピック選手を輩出した学校として、上位に続く全国大会での上位入賞と、世界に羽ばたく選手が登場することを期待したい。

前列中央がキャプテン熊谷さん、その右が遠藤さん。二列目右端が滑川さん、その左が岩本さん。最後列左端が田中さん、二人おいて原さん、その右隣が新開さん、右端が顧問の小林直哉先生。

凛々しいスーツ姿でインタビューに臨む加藤和先輩。
右隣は高校時代の和先輩、左隣は当時のコーチ。

“文化部のインターハイ” 総文祭に小水さん（二年）

昨年は福島県で行われた、「文化部のインターハイ」とも言われる「全国総合文化祭」＝総文祭。今年は富山県で開催される。その中の「吟詠剣詩舞」部門に、本校1年生の小水さん（西根中出身）が出場する。

詩吟とは、漢詩や和歌などを独特の節回しで吟じる日本の伝統芸能の一つ。普通の歌のように詩文をリズム・メロディーにのせて歌うのではなく、朗読を基本としつつ、特有のメロディーを加えて感情表現に表現するもの。本校には、この部活動はないが、今回小水さんは、橋高校に通うお姉さんや、福島西高校剣道部の部員たちと共に出場する。

お祖母様が詩吟の先生で、小学校の頃から詩吟をたしなんでいたんだそうだが、練習はいやんかそうだが、練習の中で珍しい芸能大会のスカウトの取材などがたくさんくるようになり、今ではそれが張り合いになりつつあるという。

総文祭の開会式は、8月8日（水）富山市芸術文化ホールにて、吟詠剣舞部門は、12日（日）上市町の北アルプス文化センターにて開催され、全国の仲間や専門家の前で、ぜひ素晴らしい歌声を披露してきてほしい。

（後藤陸沙・安田里咲）

2012ロンドンオリンピック日程

7月27日（金）開会式
7月30日（月）女子200m個人メドレー予選
11:06（日本時間 19:06）頃開始
準決勝20:53（日本時間 31日 4:53）頃
7月31日（火）決勝20:39
（日本時間 8月1日 4:39）頃

生徒待望 お弁当屋さん開店

学生食堂のない本校では、長年パンを販売しているこだけだパン」以外に、以前から「品数が高かったのですが、一時期お弁当を販売していたお店が、震災以後休業してしまい、昨年度は再び販売が始まり、盛りのよさと手ごろな価格で生徒の中でのみの人気店に。そこで今回、新たにお弁当の販売をすることとなりました。

お店は、学校から南へわずか100m、多くの本校生が通る通学路に開店したばかりの「コックさんのからあげ屋」さん。そこで新聞部では、早速お店を訪れてインタビューを行いました！

（小口瞳月・菅野優香）

本校の目の前にオープンしたお弁当屋さんと、お店の方々。

ソースカツ丼 300 円。大盛りは 50 円増し。

高校新聞部と中学校新聞委員会合同で、校長室にて行われたインタビュー。

前列中央がキャプテン熊谷さん、その右が遠藤さん。二列目右端が滑川さん、その左が岩本さん。最後列左端が田中さん、二人おいて原さん、その右隣が新開さん、右端が顧問の小林直哉先生。

凛々しいスーツ姿でインタビューに臨む加藤和先輩。
右隣は高校時代の和先輩、左隣は当時のコーチ。

今回は栃木県！先輩たちの案内で行く大学キャンパス見学記

福島に住む私たちの、高校卒業後の進路先は、地元に残るとなると選択肢は自ずと限られる。それ以外となれば、ぎりぎり通える範囲の仙台の大学を選ぶか、あるいは東京をはじめとする首都圏に出るかで選択する人が多い。しかし首都圏だと生活費もかかり、人間も誘惑も多すぎて落ち着いて勉強できないといったデメリットも。ところが福島と首都圏の間にも、実は魅力的な大学がいくつも存在するのだ。今回は栃木県にある二つの大学を、今年入学した本校卒業生の先輩方の案内で、5月末に訪れて取材した。

自治医科大学

ユニークな成り立ちと入試制度

栃木県下野市にある自治医科大学は、受験情報誌などでは「私立」の分類に入っているが、その設立経緯や運営形態は他にない独特のものだ。

医師や看護師といった医療に従事する専門職は、どうしても大都会に集まりがちで、僻地や地方では不足するという偏りが生じる。そこで、全国47の都道府県自治体が、将来は自分の都道府県で働く医師・看護師を養成するために、共同出資によって1972（昭和47）年につくった学校法人が設立したのが、この自治医大だ。ただ実際には、当時の自治省・現在の総務省が運営を担っている。

のどかな田園地帯に囲まれた広大な敷地内には、附属病院や病院に勤める医師や看護師の寮などもあり、社会人と学生が同居する独特の世界を形成している。大学の本部棟は新築されたばかりの立派な建物で、芝生も手入れが行き届いており、外国の大学のような雰囲気のキャンパスを誇る。

入学試験については、国公立大学ではないためセンター試験には参加せず、特に医学部では独自の選抜方法で入試を行なっている。今年度入試は全体で123名の募集だったが、都道府県ごとに2～3名（福島県は今年は3名）の定員があり、自分の都道府県で一次試験、大学で二次試験が行われて合格者が決まる。ただし自治医大の入学手続きが、国立大の二次試験の前期日程・後期日程と重なっているため、自治医大に合格しても敢えて国立大医学部に挑戦したい人などは辞退するので、その場合は繰り上げで新たな合格者が出ることも。ちなみに今年の福島県は60余名の応募の中から選ばれた3名なので、文字通りの超難関だ。

学生と保護者にとって自治医大医学部の最大の魅力は、6年間で約2,200万円という学費が在学中は自分の都道府県から「貸与」されること。その代わりに卒業後9年間は、その都道府県内で医師が必要とされている地域に派遣されて働かねばならない。自治医大に合格しても辞退する人は、この独特のメリットと自分の将来設計を天秤にかけ、国立大二次試験の合格可能性も考慮した末で決断したということになる。今回案内してくださった、医学部医学科1年の三宅真里世先輩（桜の聖母学院中出身）は、福島県立医大を目指しつつも、高校時代からもともと地域医療に関心があったため、自治医大に合格した時点でもう入学を決めた、とのことだった。

昨年新築されたばかりの、自治医科大学の本部棟の前にて。

"医師の卵" 三宅先輩は、本校卒業時に成績優秀で聖マルグリット・ブールジョワ賞を受賞した。

「全寮制」と「県人会」が特色の学生生活

学費の貸与に加えて、入学確定者には入学準備金として40万円が支給され、さらに保護者の所得に応じて毎月5～15万円が生活費として支給される。つまり保護者の学資や仕送りが例えゼロでも、医師になれる道が開かれているというわけだ。しかも6年間、原則として大学構内の寮に住むので、生活費はほとんどかからない。ただし寮では男子棟と女子棟の行き来が厳しく禁じられているため、その規則に違反した学生や、その規則が妨げとなる場合（学生結婚など）は、外に出てアパートを借りる人もいるという。

自分の都道府県の全面的支援で学生生活を過ごすため、47都道府県それぞれの「県人会」の中のつながりは何より大切にされる。新入生は自分の県人会の先輩たちに大歓迎され可愛がられる一方で、先輩たちの厳しい試験のサポートをするといった様々な伝統が受け継がれている。もう卒業して医師になっている同じ県人会の大先輩方とのお付き合いや、県の担当者との面接の時などには、たいへん緊張するという。

入学後2か月足らずを寮と大学の往復で過ごした三宅先輩は、髪の色もそのままで、遊ぶ暇など全くないといった様子。実際自治医大では、他大学の医学部が4年かけて行う授業を3年で修了させ、4～5年生で実習を行い、6年生は国家試験対策に専念するという独自のカリキュラムをとっている。スポンサーの都道府県としては、ぜひとも一発で国家試験に合格してもらいたいため、当然といえば当然のシステムだ。

そのため授業は「空きコマ」など全くないハードな時間割。70分5コマの授業を終えた後は、寮に帰って宿題や予習をやらないと追いつかない。「受験生の時より勉強しているかも」と笑う三宅先輩だが、寮の中では福島県人会の先輩たちや同期の1年生の中にたくさん友達ができ、自分のやりたいことをやれているという充実感に溢れていた。

（秋元麻以子・渡邉光葉・清水川ひより）

▶高級マンションのような自治医科大学の学生寮。写真左奥に見えるのは東北新幹線の高架橋。今度東京に行く時には、宇都宮を過ぎたあたりで左の窓に注目！

宇都宮大学

ドラマのロケ地にもなっているキャンパス！

栃木県の県庁所在地、人口50万人余りの宇都宮市にある国立大学、宇都宮大学の本部がある峰キャンパスは、町中にあるため地域の人々にも親しまれ利用されている、緑豊かなキャンパスだった。私たちが訪れた時には、グラウンドで少年サッカーチームが練習をしていたり、構内にある放送大学の建物で東日本大震災を振り返る企画展などが行われていた。

シンボルとなっているフランス式庭園は、ドラマの撮影などにも使われており、現在放映中の連ドラ「三毛猫ホームズの推理」のロケ地も、実はこのキャンパス。主人公を演じる嵐の相葉雅紀くんも再三訪れているというその美しい庭園で、私たちは今年国際学部国際社会学科に入学した、佐藤静華先輩（福島市立信夫中出身）に、大学生活についてお話をうかがった。

佐藤先輩は今年の受験で、独自日程の新潟県立大にも合格していたが、宇都宮大を選んだ。

世界に通用する人材を育てる教育

農学部と学芸学部（現在の教育学部）の2学部で戦後発足した宇都宮大は、1964年に工学部を設置、さらに1995年に国際学部を設置して現在の4学部体制に。特に3～4年前からグローバル人材を育てるための語学教育に力を入れており、キャンパスには海外からの留学生の姿も多い。

佐藤先輩の学ぶ国際学部国際社会学科は、学生の約3分の2が最長1年の海外留学に行くという。英語の授業の中には、英語の本を読むことが課題だったり、海外映画のセリフから英語文法を学ぶといった興味深い授業も。図書館にはたくさんの洋画DVDがあり、個人のブースでそれらがいつでも見放題。TOEICにも力を入れており、650点以上の人はより高度な授業を受講でき、英語キャンプにも参加できる。

またリーディングの授業は、私たち桜の聖母学院高校英語科の生徒が受けている、ネイティブの先生方の授業にも近い内容とのことで、実は本校英語科の内容は大学レベルかもしれない、とのことだった。

英語以外の第二外国語も充実していて、朝鮮語なども選択可能。佐藤先輩は以前から憧れていたスペイン語の授業を履修していて、たいへん満足しているそうだ。また今年から始まった「3・11と学問の不確かさ」という授業があり、震災と原発事故で起こった、もしくは明るみに出た問題を考えるというテーマで、福島大学の教授をゲスト講師に招いたり、放射線量を計測するフィールドワークを行うなど、人気の授業となっていてNHKでも特集されたという。

サークルには途上国の子ども達を支援するボランティアサークルなども多く、また国際学部の学生の中には、夏休みなどを利用してNPO法人が主催する、フィリピンやマレーシアなどへの数週間のスタディーツアーやワークキャンプなどに参加する人も多いそうだ。

高校時代から時事問題や国際社会の出来事に関心があり、将来は国際協力に関わる仕事を目指す佐藤先輩にとって、好きな勉強ができる上に実際に社会に関わる活動もできるこの大学・学部は、まさに理想の学生生活を送れる環境だったようだ。私たちもブランドや所在地で大学を選ぶのではなく、「自分が本当にやりたい勉強ができる大学」を目指すべきだと強く感じた。

（小口睦月・菅野優香）

相葉くんも訪れるフランス式庭園にて。なお「UU」は宇都宮大学のイニシャル。

部説

東日本大震災から早くも一年以上が経ち、被災地では復興に向けて様々な取り組みが行なわれてきた。

そのような中で、未だに復興の足かせとなっているのが、福島第一原発事故で撒き散らされた放射性物質の問題だ。警戒区域の町に帰れる日はくるのか、それ以外の地域でも除染すれば本当に安心して住めるようになるのか、大人はともかく子どもたちへの影響は大丈夫なのか、屋外でのスポーツは？水泳は？不安は尽きない。

しかしこの状況に最も深刻な影響を受けているのは、まぎれもなく農家の方々である。どんなに安心・安全であることを証明しても、全国の消費者が放射能に敏感となっており、福島産の農産物の売れ行きは低迷している。

食品1kgあたりに含まれる放射性物質の基準も、昨年の500ベクレル以下から今年は100ベクレル以下と厳しくなり、この基準をクリアするため農家は苦労している。稲作においては、ゼオライトという放射性物質の吸収を抑制する鉱物が使われているが、今までは必要のなかったこのゼオライトを撒くという作業が増えたことにより、農家には大きな負担となっている。

稲は食用のためだけのものではない。家畜の飼料や、小屋に敷く藁として使うものもある。昨年、放射能に汚染された藁が飼料として出回ってしまい、大問題となった。そうなると他県や外国から、汚染されていない藁を購入しなければならなくなり、農家の負担はさらに増すことになる。東京電力などから賠償金は出るものの、それだけではとうてい補いきれない経済的・精神的負担を背負っているのだ。ちょうど1年前に相馬市の酪農家が「原発さえなければ」と書いて自殺した悲劇は、福島の農家にとって人ごとではない衝撃だった。

野菜や、名産の果実の生産農家においても、木の皮をはぐ作業や土の入れ替えなど、途方もない苦労を負わされてきた。いま市場に出ている福島産の作物は、通常よりもはるかに手間ひまをかけて育てられ、厳しい基準をクリアしたものだ。にもかかわらず風評被害によって売れ残り、捨てなければならないとなると、そこまで育てた農家の苦労はどうなるのか。

昨年3月11日、体育館に避難し家族の迎えを待っていた本校生に大量の食料品を提供してくださった、ヨークベニマル福島西店の齋藤民男店長のモットーは「商品は二度殺すな」だった（桜の聖母学院新聞第114号）。多くの命を殺して生産された食べ物を、捨ててしまうことだけはプロとして避けなければならない。停電の中で多くの食料品をだめにしてしまうよりも、本校生のために役立ててほしい、との思いで提供してくださったのだ。しかしこのままでは福島産の農産物は、何度殺されればすむのだろう。しかも終わりが見えない不安の中で、いったいこれから私たちの故郷福島はどうなるのか。原発事故の罪は途方もなく大きい。

桜華祭 9月8・9日開催

3年前には新型インフルエンザのため中止を余儀なくされたが、翌年から再開され、昨年は震災による変則的な夏休みの直後にもかかわらず盛大に開催された、本校の中高合同の公開文化祭「桜華祭」が、今年は9月8日（土）・9日（日）に行われる。

今年の桜華祭の特色は、一昨年好評だった「セカンドステージ」（主に既存の部活動などが発表を行なう講堂のメインステージとは別に、AVホールの舞台で有志団体が発表するもの）が復活すること。そして従来の一般来場者出入口であった高校昇降口（写真）を廃止し、正面玄関とすること。被災地支援商品の販売などだ。現在実行委員も決まり、1学期期末試験後から本格的な準備が始まる。一人でも多くの地域の方々や、小学生・中学生などにご来場いただき、県北地区唯一の女子校の文化祭を楽しんでもらいたい。

一昨年に好評だった、一般出入口のアーチ。今年は正面玄関前の南門に設置予定。乞うご期待！

編集後記

♥オリンピック選手へのインタビュー、夢のようでした！できるならタケコプターでロンドンに行って応援したいです！（シャケ弁）

♣和先輩はとても親切で、質問した人の方に真っ直ぐ向いて答えてくださっていました。（のり弁）

♠新聞制作を期末試験前に終わらせることができてスッキリ。（唐揚げ弁）

＊新入部・員が欲しいな・ホトトギス（日の丸弁）

▲詩吟は伝統芸能なのに、できる人が少ないので、伝統を守って頑張ってほしいと思った。（早弁）

★3年生にとってラストを飾る新聞がついに完成！あとは後輩たちに託します。（ドカ弁）

◆今回取材した先輩がたの勉強方法を参考に、私も第一志望に合格できるよう頑張りたい。（駅弁）

☀あと1週間早く大学取材に行って、あいばくんに会いたかったわぁ。（京都弁）

♪来年の今頃は、私も先輩のようでありたい。短かったけど新聞発行に携われてえがった。（ふぐすま弁）

◉和選手にメダルをとってもらって、号外を発行するぜい！（空気弁）

桜の聖母学院高校 オープンスクール
7月21日（土）9時～12時頃

お申し込みは各中学校を通して、または直接本校（024-535-3141）にお問い合わせください。

夏の文庫フェア まもなく始まります！
6月下旬より開催、今年の読者プレゼントは何かな？
大学入試関連書籍も随時入荷しております。
赤本・センター対策本など
FBN 文化情報発信館 西澤書店
大町店 福島市大町7-20 Tel.024-522-0161 Fax.024-522-4139
北店 福島市南矢野目字中江12-5 Tel.024-557-5101 Fax.024-557-5107

福島県二本松市本町一丁目
二本松藩御用達
御菓子師
㈱玉嶋屋
TEL.0243-23-2121

夏休みの旅行の計画はもうお決まりですか？
好評受付中
JTB東北法人営業 福島支店
〒960-8035
福島市本町5-26（本町本田ビル1F）
TEL 024-523-3314
FAX 024-522-2980
営業時間：月～金曜日／9:30～17:30
（土・日・祝日休業）
http://www.jtb.co.jp/shop/hojin-fukushima/

大切な写真は
●広々とした空間を持つ —ファミリースタジオ—
●緑に包まれた —ガーデンスタジオ—
●絵画が楽しめる —サロンスタジオ—
PHOTO SALON
わが家のメモリーアート
ワタナベスタジオ
〒969-1612 福島県伊達郡桑折町字西大隅3-13
TEL0245-82-3152 FAX0245-82-3622